

会 議 録 （会議経過含む）

会議の名称	平成22年度第3回由利地域協議会
開催日時	平成22年12月22日（水） 午後2時～
開催場所	善隣館 「ホール」
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	「欠席者名簿」のとおり
会 議 次 第	
<p>1. 開 会 午後2時～ （進行：三浦課長）</p>	
<p>2. 会長あいさつ</p> <p>一言ご挨拶申し上げます。後何日もなくなりました今年でございますが、年度としては4半期残っているわけでございます。今年も年度のスタートに当たりましては市長の市政方針にもありますように、地域づくり推進事業に非常に期待をしながらスタートしたというようなことでございますし、今年度から定住自立圏構想も併せてスタートとなった訳でございます。この両事業とも、まず良好な進み方、進め方ではなかったかなと思っております。あとで事務局の方からご説明もあろうかと思っておりますが、この点につきましては今後とも進めて参らなければというような感じでございます。同時に各集落から毎年要望が出るわけでございますが、それと併せて本協議会で協議して参りたいし、この協議会は市町村合併の条件でもありました、自治区の設置条例に基づきまして出来た協議会でございますので、今後とも皆さんのご協力を賜りたいこのように考えます。</p> <p>今年は、非常に天候が不順でございまして、作柄も不良というような非常に厳しい出来秋を迎えたわけでございます。そういった中で、非常に後半残念なことばかり新聞紙上を賑わしたのも皆さんご案内のとおりでございます。議会の関係もありましたし、市当局の事故といえますか事件といえますか、非常に不適切な事務処理等々ございました。加えまして、教育委員会でも事件が発生したわけでございますが、非常に残念でございます。子どもたちは日本のトップと言われるような成績だということですが、一方我々大人はどうなっているのかなというようなことがおそらく巷で囁かれていることだろうと感じます。そういうようなことで、いろいろ来年への反省が活きるだろうと思えます。また、財政の厳しい折でございますが、たしか財政計画では平成23年、来年度公債費率がピークに達し、26年くらいには平常に戻るといった財政計画のようであったと記憶しているのですが、こういったことが計画どおり進めていただきたいものだと思います。この間市長が発表しました、市庁舎の建設は中止するといった新聞記事を見ますと、当然発展計画の見直し等がでて来ると思えます。そうだとすれば由利地域でも前回の見直しで事業の繰り延ばしといえますか、27年度以降に延ばしたもののそういうものもございまして、おそらくそう遅くない時期に見直しが出てくるだろうと思えます。当然この協議会に計らなければならない訳でございますので、その際には皆さんからも活発なご意見を頂戴したいものだと思います。いずれにしましても、今年の反省を踏まえながら来年も総合支所長を中心に、我々各委員の更なるご協力を願いながらこの協議会を進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。</p>	
<p>3. 会長報告</p> <p>資料－1により、各種会議への出席状況について説明。 （佐藤千秋会長）</p>	

4. 行政報告

資料－2により、12月22日までの由利地域の行事等を報告。（由利総合支所 三浦支所長）

5. 協議

議事録署名人を、佐々木勝美委員、木内進に指名。

由利地域総合発展計画由利地域主要事業について資料3により説明。（由利総合支所 各課長）

（A委員）

市民福祉課の斎場の件ですが、夏場に火葬や葬式で斎場を利用することがありますが、ぜひ冷房の整備をお願いしたいと思います。皆さんから強い要望がありますのでお願いしたい。

（市民福祉課長）

要望として承って本庁の方に伝えます。

（B委員）

①コミュニティ複合施設整備事業（前小跡地答申）とありますが、前郷区会でも前に陳情を出していますが、内容については27年度以降となっていますが、どういうものになるのかつかめていないのでご説明いただきたい。

②市道金山線道路整備事業についてですが、前郷区会でも山林があるわけですが、とくに東由利側が未舗装で、側溝などの整備もされるのかご説明をお願いしたい。

③由利中学校の中が細かい箇所破損が見られる。軽微なものですが、この中に入っているのか確認したい。

（三浦振興課長）

由利小統合前に、跡地計画策定委員会の答申がありました。答申内容はご存じかと思いますが、役場庁舎を移転した形での校舎利用ということでありましたが、その後手つかずでいたわけでありませう。去年の地域協議会の中で検討していただき、総合支所の移転は無理だろうということで、解体をして地域のコミュニティ公園というようなことにはどうかと話されているのが現状です。現在は、民族資料の置き場になっていて、電気もガスも止めている状態であります。そういった中で、27年度以降3億円の事業計画であります。今回の後期の26年度頃まで前郷地区あるいは地域の方々と協議検討していきながら取り扱いについて協議していきたいと考えておりますので、今後計画の中で27年度以降に解体を含めた形の中で事業実施していかなければならないと認識しておりますのでご理解をお願いします。

（B委員）

グラウンドも含まれますか。

（三浦振興課長）

グラウンドにつきましては、あそこ一帯滝沢館の埋蔵文化財があるようなわけで、いろいろ文化課とも土地の使用について協議していますが、文化課としては、何も手を付けないのが文化の保存だという基本的な考え方であるので、グラウンドも校舎も含めて、事業実施する際には1億円以上の発掘調査費用になると試算されており、なかなか期間も長くなるし事業費も大きいということでもありますので、その辺りを今後どうするかというのを検討しますが、グラウンドも含めた形の中で整備計画をどうするのかというのを地域として協議しながら検討していきたいと思っております。

（庄司建設課長）

2点目の説明に入る前に、総合発展計画にある市営住宅建て替え事業の説明をしましたが、前郷小学校のグラウンドに建設することも検討しましたが、調査だけで1億円といわれたためあきらめました。それで現在の場所に建て替えることとしました。それでも、調査が必要ですが、滝沢館の本丸があったそうですが、現在の場所にはほとんど無いと思うので調査費自体は安くできるだろうというようなことです。

ご質問の金山線についてですが、平成23年度から有効幅員5m、全幅員6mの道路を東由利側から作ってくる予定です。有効幅員5mですので、1.5車線道路、真ん中に車線は入りませんが、すれ違える道路ということで、当然側溝等整備される。拡幅するには買収が必要となりますが、東由利側の方の買収は以外と楽なのですが、問題は由利地域の方の拡幅する場合に、片方は断崖、片方は川ということで非常に困難な箇所があり、その場所については、臨機応変にしまして、広げられるところは5mで整備し、広げられないところは広げられるだけ整備する方向で向かっていきたい。側溝は全路線入る、東由利側が1.5km程あり、4年くらいかかる見込みなので、由利は後期計画となっていますが、由利地域側が5kmほどあるので整備していきたい。

(伊藤教育学習課長)

3点目の中学校のトイレですが、総合発展計画でトイレの補修は計画しておりません。委員から意見があったことで現場確認して対処していきたい。軽微なものであれば修繕で対応したいし、お金がかかるようなものであれば相談しながらやらなければいけませんし、いずれ現場確認のうえ、対応したい。

(C委員)

市道屋敷西由利原線道路改良舗装事業が27年度以降の計画となっていますが、現在、部分的に修繕が必要な箇所がある。そういった箇所は前倒しで整備してもらえるものか。

(庄司建設課長)

総合発展計画は現状の道路を拡幅するなどといった計画ですので、現状で下がったとかということであれば、補修等で直していきます。

(D委員)

全体的な流れを確認したいのですが、平成17年に合併したわけですが、その際合併後10年間は、旧町の交付率に見合った交付税をもらえるとのことだったと思いますが、27年度以降の次期計画は徐々に交付税を減らしていくという認識でございましたが、そういうことを考え併せますと、27年度以降の事業について、実際実現と言いますか、本当にこのような形で地域に資金が回ってくるのか感触的なところをお聞かせいただきたい。

(三浦振興課長)

合併後10年間は国で支援する、それ以降は自立努力で賄いなさいという合併当時の考え方でありましたけれど、27年度以降段階的に交付税は削減されます。ただ、今策定している財政計画、及び公債費率負担適正化計画ではそれを見越した計画で事業執行、計画しておりますので、現段階については、財政負担関係を踏まえた形で執行している状況でありますので、私から心配ないとは言えませんけれども、国の情勢等で来年から特別交付税も、地方交付税も削減になるようでありますけれども、そのようなことも踏まえながら、現段階では予算規模を決めておりますので、そこら辺をご理解願いたいと思います。

地域づくり推進事業について資料4により説明(振興課 佐藤主査)

(E委員)

由利原にある平和の塔とモニュメントがあるわけですが、あれには日露戦争から戦没した方々の慰霊碑があります。由利本荘市内でもこのようなものがあるのは由利地域しかありません。この平和の塔も建設してから15年以上経過していて傷んでいます。特に下の方は瓦も落下して2、3回交換していますし、六角堂の灯籠も脱落して見苦しい状態となっています。維持管理に関して行政でどのくらいタッチしているものかおしえてください。

(三浦振興課長)

あそこの平和の塔は、私が企画にいたときに整備したものでありますが、六角堂につきましては、宗教関係だったものですから、土地は町で提供したようだったが、施設そのものについては、屋敷の

佐藤さんが先になって資金等を募って整備したものであったと思いますので、市としては管理まではできないと話し合いをして整備したものであるため、市からは手が離れている状況です。

モニュメントについては、あそこはコスモス園という公園一帯の建物となっていますので、市の管理となっています。

(E委員)

建設当時の方が現在5名しか残っていません。高齢となり今後維持管理を行っていきにくくなると思う。そうなった場合市でとなるとと思いますのでどうかご検討をお願いしたいと思います。

(三浦振興課長)

支所の方で協議をしてみたいと思いますので、ご理解をお願いしたい。

(F委員)

市営住宅建て替え事業について、建て替えの際、現在入居されている方の対応はどうか。現在一棟空いている棟があるが、その使用状況はどうなっているのか。

もう一点は、新市になったときに、馬喰町から二号水という農道路線が市道に認定されましたが、認定された場合は速やかに舗装するよう努力すると懇談会等で回答をされていたが、まだ整備されない。外の道路は舗装整備されているところもあるのに、ここが着手されないのはどういう理由があるのかご説明いただきたい。

(庄司建設課長)

現在、住宅の入居募集はしていません。というのは、来年から取り壊し等を行いますので、現在の入居者を空いている部屋に入ってもらうためです。移転費用も事業の中から補償的なもので支払いしながらやっていきたいと考えています。

当初補助事業で整備しようとしたが、狭い箇所があり、補助事業の規定外だったためにあげられなかった状況です。今は交付金事業というのがあって、規定が柔らかくなった事業があるので、そういう維持事業の中でやっていきたい。ですので、改良事業のような大々的に拡幅や買収ではなく、あくまでも砂利道を舗装していく維持事業でやっていきたいと思います。総合発展計画にあげなくても出来ます。予算要求はしているのですが、国の補正できめ細かな交付金でどのくらいくるかで変わってきますので、そちらで対応できればと考えています。

6. その他

- ・平成23年市政懇談会について
- ・市長と市民のふれあいトークについて

(D委員)

外郭団体の事務局を市職員がやっていて通帳や印鑑を預かって実際運営していることが由利地域でもあるのか、なくしたのか。不祥事につながるような団体の事務局を出来るだけ住民にやってもらうようにPRして事務局を持ってもらう必要があると思いますので。

(三浦振興課長)

今現在、支所の職員が事務局を持っているものが15件ほどあります。先般不祥事により、行政改革推進課で査察を行っていますし、現状で民間に引き渡せない部分、反公共的な部分もあることはご承知のことと思いますが、その場合は、通帳は金庫、印鑑は担当課長というように管理についても十分に配慮しています。各関係団体と担当所管で民間に引き渡す協議はしておりますが、なかなか引き渡すことが出来ない場合仕方なく支所の職員が管理しているのが実情ですので通帳等の管理体制を強化しながら、事故等無いように気をつけますのでご理解をお願いしたい。

(D委員)

課長といっても内部の方なので、通帳は市で持っていて、印鑑は団体の長に預けてはどうか。事務処理は煩雑になるかと思うが、事故防止を考えると、けじめを付ける方がいいのではないのかと思

います。

(三浦総合支所長)

団体の通帳は支所職員が持っていますが、普通の方に会長を依頼している場合もありますし、わざわざ来ていただくのも悪いということもありますので、どれが一番いい方法なのか検討させていただきますのでよろしくお願いします。

7. 閉会

終了 午後3時55分

会議の資料

別紙のとおり

◆出席者名

会長	佐藤千秋	由利総合支所長	三浦貞一
副会長	徳山洋一	振興課長	三浦清久
委員	佐藤金市	市民福祉課長	鈴木甚悦
委員	原田清孝	産業課長	木内幸一
委員	佐藤文夫	建設課長	庄司昭一
委員	相田勝弘	教育学習課長	伊藤康勝
委員	工藤健一	振興課主査	佐藤弘幸
委員	尾留川朋四郎	振興課主任	鈴木顕
委員	佐藤イネ子		
委員	佐々木勝美		
委員	木内進		
委員	木内芳一		

◆欠席者名

委員	橘明子	委員	伊藤正弘
委員	二見美代子		